

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	乙訓ポニーの学校		
○保護者評価実施期間	令和7年10月6日		～ 令和7年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	91	(回答者数) 50
○従業者評価実施期間	令和7年8月1日		～ 令和7年8月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援計画書作成、及び支援計画に沿った支援	子どもの発達に合わせた支援計画になるよう、ケース会議を行っています。また、保護者に子どもの様子を観察してもらった上で支援計画書の説明をしたり、日々の報告で支援内容や子どもの様子を伝えるようにしています。	より子どもの発達を正確に理解するため、支援員のスキルの向上を目指します。
2	子どもに合わせたクラスづくり	親子クラス、個別療育、集団療育があり、子どもの発達課題やニーズに合わせてクラス編成を行っています。	年度によって入所する年齢や子どもの課題に偏りが生じるので、今後もクラスの形態を変化させるなど工夫して取り組んでいきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全面・衛生面について	落とし物があったり、危ないと思ったものは撤去していますが、部屋が広く、人の出入りも多いため、隅々まで目が行き届かないことがあります。	保護者に手渡す書類は、クリップを使わずファイルを使用するなど、落とす可能性のあるものは使用しないように工夫します。
2	マニュアルや避難訓練などの周知	案内で周知はしていますが、実際に訓練をしたり、目にしないと実感しにくいと思います。	避難訓練については、参加していない利用者に内容を口頭で伝える等、工夫して周知するよう努めます。マニュアルについては、案内以外でも周知する方法を探ります。
3			